



四阿山・根子岳①

2017年8月4日（金）～5日（土）
Report by 堀

先週から長寿台風5号が南海上をうろついており、2週続けての雨登山は嫌なので最終判断を先送りしていましたが、どうやら直撃コースが外れそうになり熊本さんとも相談の上、予定通り実施することにしました。

四阿山には、2003年8月に熊本さん、高橋（文）さん、川島さんが日帰り登山をしており、14年ぶりとなります。いくつかプランとコースを検討しましたが、熊本さんのコース・行程案でいくこととしました。

参加者は、吉松さん、熊本さん、池戸さん、堀の4名。

8/4（金）



ホテルの送迎バスが上田駅発
14:30と普段の山行に比べ大
変ユックリなので・・・
熊本さんは早い列車で来て、
小諸城址（懐古園）、上田城な
どを散策。

“小諸なる古城のほとり、雲
白く遊子悲しむ”島崎藤村ゆ
かりの地





池戸さんも1本前の列車で来て上田城を見学。



13:40 上田着のあさま 609号は、指定席は満席、自由席も東京駅でほぼ満席だった。やはり夏休みの時期だと実感。軽井沢でかなりの人が降り、上田でも結構降りる人がいる。



暖簾の案内表示とは、凝っていますね。



時間前に全員集合。14:30 発の送迎バスまで、コーヒーでもと思ったが、唯一あった喫茶店タリーズは空席がなく、自販機コーナーで時間つぶし。



15:05 あずまや高原ホテルに到着。変な奴がお出迎え。(ここは元々クマが暮らすところです) だと!



チェックインを済ませて明日のためにコースの下調べ。牧場の入り口まで往復。



宿に戻って、一風呂浴びてさっそく乾杯！

そして純米酒「真田三代」歩いていないし、山小屋じゃないし、やや盛り上がりに欠けるよう…



ここの支配人は外国人（予約の時、どうもうまく話が通じなかった。名前を聞いたら「瀬名です」と言っていたので、日本人かと思っていたら、どうもセナさんらしい）

飯を食ったら寝るだけだ。

四隅に布団を敷き、真ん中にできた通路は、誰が名付けたか“小野寺街道”（小野寺さんは、お仕事でドタキャンでした）



8/5 (土)

4時起床。一風呂浴びて各自持参の朝食を摂る。

早立ちなので、前夜に宿の精算をしておいたのに酒代が未精算だとのこと。領収書一枚書くのに5分以上もかかる。

（客対応の悪さにあきれた）



5:00 ホテル前で出発写真撮影。浅間山には噴煙が立ち昇っていた。ホテルの応対はダメだが、お天気は予想以上の上天気だ。



あづまや高原ホテルから四阿山への登りはほぼ直登コースである。



POSTに登山届を出し、出発！四阿山への方向指示版によると、ここは 1470m、四阿山 (2354m) 山頂まで約 900m の登りだ。

しかしこんな所に消火栓とは不思議？

歩き出すと直ぐに道端にいろいろな花が咲いている。期待が膨らむ。



キバナヤマオダマキ



アカツメクサ



ウツボグサ



ヤマホタルブクロ



ツルラン



マルバダケブキ



野生の桔梗を見ることは稀が、
これはまた特大の桔梗、感動ものだ。



ヨツバヒヨドリ



オトギリソウ



ハクサンフウロ



オオバギボシ



コオニユリ



ツリガネニンジン



美味しそうな牛が道を塞いでいる。
この牛は 100g 幾らだろう?
「ふるさと納税」以来どうも邪念が・・・

森林限界が近づく



7:00 石祠を通過



たなびく雲の上には北アルプス。穂高～大キレット～槍ヶ岳の山なみ

さらには鹿島槍～五竜の後立山連峰

画面の左の方には焼岳の噴煙らしきものが三筋立ち昇っていた。“火山活動が活発になっているのではないか”と熊本さんと話す。この後 8 月 10 日に焼岳の火山情報（臨時）が出て納得！

八合目、森林限界を超えて、日も昇り暑くなってくる。暑さの苦手な池戸さんはお疲れ気味だ。

しかし、このあたりの花々はなんと可憐で美しいことか！



マツムシソウ



ソバナ



ミネウスユキソウ

四阿山の山頂まであと少しだ。



山頂直前には木製の階段。



8:50 四阿山（2354m）頂上、
こちらは長野側の山頂です。
標識は塀の上に小さく白い柱
があるだけでした。



更に数分進むと、
群馬側の山頂で、
立派な標識があ
る。(合成写真)





再び長野側山頂にもどると、
間近に根子岳(2207m)が見える。

ここ、四阿山より低いし、尾根
伝いに楽に行けそうだが…



9:30 四阿山から根子岳への分岐に戻ったところで、池戸さんは「根子岳を諦めて中四阿経由で下山したい」とのことでのことで、熊本さんが同行してくれることになる。

ここで二組に分かれ、吉松・堀の二人は根子岳を目指した。
中四阿ルートは熊本さんにお願いすることとして、以後は根子岳ルートの報告です。

分岐から四阿山と根子岳の鞍部まで40分の下りが続いた。
森林の中の急な下りで、木の根が非常に多い。根子岳とは“根っ子だらけ”的こと。
もしも雨だったら苦労するコースだ。





ようやく樹林を抜けて、四阿山と根子岳の鞍部に出る。
吉松さんの後の山は四阿山。



前方は根子岳。ほとんど木のないのびやかな草原である。



タカネニガナ



トモエシオガマ



コケモモの実



山頂の手前の斜面はお花畠にな
っている。



タムラソウだろうか？



草丈 10 cmほどなのに 5 cm位ありそうな花をつけたホタルブ
クロ

来た道を振り返れば、四阿山に雲がかかり始めている。



11:05 根子岳山頂に到着

山頂から見える山名を記した表示板が設置されているが、中心には猫岳とある。



持参のおにぎりなどで昼食、そして記念写真。

11:30 下山開始。



20 分ほど下るとヤナギランの群落が。



“禰固岳八合目”と書かれた北信畜産組合奉納の石碑。
根子岳、猫岳、禰固岳 3 種類の表記に出会った。
「ネコダケ」という音は同じだ。



さらに下っていくと、菅平牧場が現れ、牧場管理事務所らしい建物も見える。
熊本さん達はもう管理事務所を通過しただろうか？

“高山蝶保護パトロール実施中”と書かれた看板が出てきたところで、熊本さんから電話が入る。まだ、管理事務所の手前だとのこと。ではダボスバス停へ先行することにしようと歩き始めたら、左上の売店の前から熊本さんが呼びかけてきた。
これで無事に熊本組と合流となった。



Part① (完)